

事務事業名		高遠山古墳保存整備事業		目標設定日	平成29年3月1日
				部・局	教育委員会事務局
総合計画体系	基本政策	4	ふるさとを学び育つ文化のまちづくり	課・室	生涯学習課
	政策	03	地域の歴史・文化の保存と活用	係	文化財係
	施策	01	文化財の保護・保存・活用	内線電話	8262
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
	目	2目	文化財保護費	合併前	～ 平成34年度

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	高遠山古墳の崩落を食い止め、周辺住民の危険を除去する。
	現状・課題	善光寺平最古級の前方後円墳である高遠山古墳は、一部が宅地造成や土取りにより破壊されている。放置して崖面崩落が進行すれば、古墳も破壊する危険がある。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	長野県文化財保護条例（中野市が所有者であるため。）		
事務事業概要	崩落の恐れがある崖面を保護するために、盛土等の工事を実施する。			
平成29年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量	
	高遠山古墳整備工事設計監理業務委託		一式	
	高遠山古墳整備工事		一式	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	予算額	当初予算	円		10,000,000	10,000,000
補正予算		円		0	0	—
合計		円		10,000,000	10,000,000	10,000,000
決算（見込）額 A			円	8,930,520	9,774,000	—
財源内訳	国庫支出金	円		0	0	0
	県支出金	円		3,046,000	1,666,000	3,333,000
	市債	円		0	0	0
	その他特定財源	円		0	0	0
H29は予算額	一般財源	円		5,884,520	8,108,000	6,667,000
正規職員数		人		0.84	0.84	0.63
人件費 B		円		5,553,240	5,549,880	4,162,410
総事業費 A+B		円		14,483,760	15,323,880	14,162,410
市民1人当たりコスト		円		329	351	327

成果指標	アウトカム	方向	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
復元・保存整備率		累計	目標	53.0	%	59.0	%	64.0	%
			成果	53.0	%	59.0	%	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値の設定理由	崖面崩落の危険を除去して周辺住民の安全を確保するためにも、整備工事の早期完了に努める必要がある。								

平成29年度の実施方針	重点的に実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	従前どおり実施する。						

